

月まで届け、 厄除けの鬼花火

『地獄の谷の鬼花火』、開幕

6月1日(月)、登別温泉町の地獄谷展望台で『地獄の谷の鬼花火スタート』(市、登別観光協会主催)を開催しました。

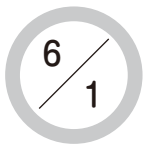
国内外からの観光客や関係者など、約1千280人が注目する中、同観光協会会長の唐神昌子さんの宣言とともに地獄谷からの打ち上げ花火が夜空を彩り、10周年となる記念すべき今シーズンの鬼花火がスタートしました。

中天に輝く月が鮮やかに地獄谷を照らす中、ドラや太鼓の音とともに、登別温泉の守り神である湯鬼神たちが舞を踊りながら登場しました。舞で集めた人々の厄を、月まで届けとばかり天に向けて鬼花火として打ち上げ、その美しい火柱は観衆を魅了し、地獄谷は歓声と拍手に包まれました。

『地獄の谷の鬼花火』は、8月7日(金)までの毎週木・金曜日の20時30分から、地獄谷遊歩道を照らす『鬼火の路、幻想と神秘の谷』は、日没から21時30分まで通年開催しています。



▲地獄谷の夜空を彩った鬼花火



力を合わせて 共同生活

通学合宿『みんなで学ぶ子ども村』

5月26日(火)〜30日(土)、ふおれすと鉱山で、通学合宿『みんなで学ぶ子ども村』(のぼりべつ子ども村実行委員会主催)が開催され、青葉・富岸・若草・警別各小学校の5・6年生の児童51人が、4泊5日の合宿に参加しました。

この事業は、子どもたちが親元を離れ、共同生活をしながら学校に通うことで、自主性や協調性を身に付けることを目的に、平成21年から毎年実施しています。

警別小学校5年生の相澤至道くんは「ほかの小学校の子たちと仲良くなれて楽しかったです」と元気に話してくれました。



▲思いぎりチャンバラを楽しむ

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



サムライの卵たちが躍動

第15回わんぱくサムライ体験

5月23日(土)、郷土資料館で『第15回わんぱくサムライ体験』(市教育委員会主催)を行いました。

『武士の世界と和の心』の体験がテーマのこのイベントを心待ちにして会場に集まった子どもたちは、炭火で焼いた後に温泉マークを刻印するせんべい焼き体験、実際に作って完成品を飛ばす竹とんぼ遊びなどに歓声を上げ、伝統的な和の世界に触れました。

また、スポーツチャンバラでは柔らかい剣を振り回し、流鏑馬では力いっぱい弦を絞る、躍動するサムライの卵たちの姿が見られました。



▲協力して食器を洗う子どもたち